



コミュニティ・スクールだより

長松小学校運営協議会 事務局発行（文責：林田）



★ 2026 夏休み ★

夏休み序盤の 7 月、保護者様はじめ地域の皆様のお陰もあり、長松小の児童に事故などの大きく心配する連絡はなく安堵しているところです。

一方で、先日の熊本地方を襲った巨大地震では、尊い命が失われ、今も継続した揺れと厳しい暑さの中で被災生活を送られたり、復旧活動に従事されたりしている方々の様子が報道されています。

被災された方々に対し、心よりお見舞いを申し上げます。そして、皆様の安全と被災地の一日も早い復旧・復興お祈り申し上げます。

さて、今回は直近で行ったコミュニティ・スクール関連行事を 2 つ紹介します。

大盛況 夏休み学習会 ☆



西高生と一中生のボランティアによる学習会

7 月 27 日（月）と 28 日（火）の 2 日間、図書室で夏休みの学習会を行いました。延べ 62 名の児童と 25 名の先輩先生が主に夏休みの宿題に取り組みました。

再会を楽しみにお別れする子ども達もいて、年代を超えた子ども達同士の絆も深まりました。

町田川的环境調査



町田川的环境調査

7 月 16 日（木）3 年生の子ども達が町田川的环境調査を行いました。

元中学校校長の吉田喜美明先生をはじめ、NPO 法人 KANNE の藤田さん、市役所環境対策課の職員さんを講師に 3 年生が水生生物の調査する体験活動をしました。

ヤゴや川エビなどを採取した子ども達は、きれいな環境を守っていくことへの意欲を高めていました。

「メディアを考える日」 の取組は・・・!?

酷暑続きの夏休み。暑さを避けて、家の中でほぼ終日を過ごしている子ども達も多いことでしょう。そんな時、ユーチューブを視聴したり、LINEで友達とやり取りしたりするなど、スクリーン・メディアの利用が増えている人達もいることでしょう。SNS上のトラブルは保護者や大人の知らないところで増幅し、気づいた時には取り返しのつかない事態になっていた事例が横行する昨今です。

気軽に利用できる分、保護者の目が届きにくくなる夏休みは家庭内でのルールをお子さんと一緒に、より丁寧にしっかり確認することが大切です。

7月1日の長松小「メディアを考える日」の取組についての保護者アンケートの結果をまとめてみました。

(81名の保護者様の回答より～ありがとうございました～)

【Q1】どのように取り組まれましたか。(複数選択可)

①食事中や家庭学習中は、ノーメディアで過ごす **42/81**

②メディアに触れる時間を1時間までとする **13/81**

③夜9時以降はメディアに触れない **35/81**

④家庭でのルールの話し合いや確認をする **25/81**

⑤メディア利用の時間を減らし睡眠時間をしっかりとる **27/81**

⑥その他(①～⑤以外の取り組み) **4/81**



【Q2】取り組みのご感想・ご意見

(特徴的なお気づきの中から3つのご回答を抽出しました)

去年と同様ノーメディア・デーをしています。テーマを決めて今日あった出来事を食事中に話す時間にしています。今回は、家でかくれんぼをして家族時間を楽しみ、いつもより笑いあう時間となりました。(3年保護者)

デジタルデトックスをしてみると、いろんな事に気づいたり、頭がスッキリしたりします。親がそういう姿を子供に見せることもとても大事だと思います。(6年保護者)

日頃から食事中や学習中にはノーメディアで過ごすようにしているので、再確認できて良かった。また、家族で折り紙などをして楽しめたのも良かったです! これからもなるべくメディアから離れて過ごせたらいいと思います。(5年保護者)